

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成23年11月11日

**【四半期会計期間】** 第35期第2四半期(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

**【会社名】** 株式会社クロップス

**【英訳名】** C R O P S C O R P O R A T I O N

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 小 林 正 明

**【本店の所在の場所】** 名古屋市中村区名駅四丁目23番9号

**【電話番号】** 052(588)5640(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部門担当 飯 田 長

**【最寄りの連絡場所】** 名古屋市中村区名駅四丁目23番9号

**【電話番号】** 052(588)5640(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部門担当 飯 田 長

**【縦覧に供する場所】** 株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第34期 第2四半期 連結累計期間		第35期 第2四半期 連結累計期間		第34期	
		自 至	平成22年4月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成22年4月1日 平成23年3月31日
売上高	(千円)		8,085,729		10,265,101		16,958,333
経常利益	(千円)		466,963		485,522		779,344
四半期(当期)純利益	(千円)		203,730		247,290		330,061
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		221,669		266,069		363,651
純資産額	(千円)		3,029,296		3,420,160		3,171,937
総資産額	(千円)		8,404,103		9,566,785		10,786,817
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		18.79		22.81		30.45
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		34.6		34.1		28.2
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		527,182		389,216		426,314
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		165,706		107,414		1,382,272
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,442,746		1,367,345		2,724,163
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		2,876,068		1,754,506		2,840,050

回次		第34期 第2四半期 連結会計期間		第35期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成22年7月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		7.87		10.41

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第34期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

主要な関係会社の異動については、次の通りであります。

平成23年7月14日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社クロップス・メディコムを解散及び清算することを決議いたしました。

なお、平成23年10月31日に清算終了しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響により低下した企業の生産活動が、サプライチェーン復旧等による経済活動の正常化により急速に回復に向かっているものの、電力供給の制約、円高の進行や欧米の景気減速懸念等の不安要因によって、引き続き先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済環境の中、移動体通信事業におきましては、国内の携帯電話契約件数が平成23年9月末現在で1億2千3百万件を超えており、移動体通信事業者各社におけるスマートフォンを中心とした新機種の発表、新たなコンテンツサービスの提供等により顧客獲得に向けた競争はますます激しくなっております。

人材派遣事業につきましては、引き続き完全失業率が高水準で推移しており、東海地区の人材派遣市場も依然として厳しい状況が続いております。

ビルメンテナンス事業につきましては、顧客企業のコスト削減意識は一段と強まっており、値下げ要請による単価の下落や同業他社との価格競争の激化が続いております。

飲食店舗居抜き流通事業につきましては、潜在的な首都圏への出店希望需要は依然として高いものの、震災後の自粛ムードや電力供給問題等により新規出店意欲の低下が見られ、厳しい状況となっております。

文具事務用品卸事業につきましては、消費者の節約志向は継続しているものの、大手文具販売店等への販売を中心に、堅調に推移しております。

このような市場環境にあって当社グループは既存顧客の確保と新規顧客の開拓に注力した営業活動を展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高10,265,101千円（前年同期比27.0%増）となりました。損益面におきましては営業利益475,461千円（前年同期比0.4%減）、経常利益485,522千円（前年同期比4.0%増）、四半期純利益247,290千円（前年同期比21.4%増）となりました。

セグメント別の概況は、次の通りであります。

#### 移動体通信事業

移動体通信事業におきましては、スマートフォン（IS series）、タブレット端末等の販売促進や800MHz帯周波数の切り替えに伴い平成24年7月22日をもって使用できなくなるau携帯電話を利用されている顧客への機種変更促進等に注力いたしました。

また、総合的な営業力の強化を図るための“核店舗の大型化”を引き続き進めており、当第2四半期連結累計期間においては、3店舗のリニューアル（平成23年6月「auショップ豊橋向山（愛知県豊橋市）」、同年7月「auショップ新安城（愛知県安城市）」、同年9月「auショップ瀬戸瀬港（愛知県瀬戸市）」）を実施しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、5,249,094千円（前年同期比13.4%増）、営業利益は297,791千円（前年同期比19.7%減）となりました。

#### 人材派遣事業

人材派遣事業におきましては、営業効率のさらなる強化及び経費の圧縮に努めるとともに、積極的な営業活動に注力いたしましたが、景気の先行き不透明感による顧客企業の求人意欲の低下から長期契約の販売系派遣数が減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,057,010千円（前年同期比9.8%減）、営業利益は46,825千円（前年同期比7.5%減）となりました。

#### ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業におきましては、顧客企業のコスト削減意識の高まりにより価格競争が激化する一方、新規顧客の開拓等営業活動及びコストダウンの推進に注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,598,248千円（前年同期比1.3%増）、営業利益は52,420千円（前年同期比66.5%増）となりました。

#### 飲食店舗居抜き流通事業

飲食店舗居抜き流通事業におきましては、営業体制の拡大による収益力強化とともにWebサイト（居抜き店舗.com、店舗買取り.com）を積極活用した出店・退店希望者へのアプローチ、店舗物件開拓等の営業活動を展開いたしました。しかしながら、震災後の自粛ムードや電力供給問題等による新規出店意欲の低下から契約件数が伸び悩み、持ち直しの傾向が見られるものの、厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、714,195千円（前年同期比7.9%減）、営業損失が2,319千円（前年同期は49,454千円の営業利益）となりました。

#### 文具事務用品卸事業

文具事務用品卸事業におきましては、消費者の節約志向は継続しているものの、高輝度LEDライトや卓上扇風機等のタイムリーな商品企画、商品販売に注力いたしました。また、100円ショップや通信販売会社への販売が堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,734,177千円、営業利益は111,246千円となりました。

## (2) 財政状態の分析

流動資産は、前連結会計年度末に比べて18.9%減少し、5,222,796千円となりました。これは、主として商品の増加(182,949千円)等があったものの、現金及び預金の減少(1,084,943千円)、受取手形及び売掛金の減少(257,203千円)等があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、4,343,988千円となりました。これは、主として差入保証金の増加(54,490千円)等があったものの、のれんの減少(34,165千円)、貸与資産の減少(24,846千円)等があったことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて11.3%減少し、9,566,785千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて25.4%減少し、4,205,847千円となりました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金の増加(39,960千円)等があったものの、短期借入金の減少(1,300,000千円)、未払金の減少(93,990千円)等があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.0%減少し、1,940,776千円となりました。これは、主として長期預り保証金の増加(65,800千円)等があったものの、長期借入金の減少(88,769千円)、退職給付引当金の減少(13,951千円)等があったことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて19.3%減少し、6,146,624千円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7.8%増加し、3,420,160千円となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金の減少(4,532千円)等があったものの、利益剰余金の増加(231,033千円)、少数株主持分の増加(21,074千円)等があったことによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ1,085,544千円減少し、1,754,506千円となりました。

キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は389,216千円(前年同期比26.2%減)となりました。これは主に法人税等の支払額(225,183千円)やたな卸資産の増加額(182,591千円)等があったものの、税金等調整前四半期純利益(485,303千円)や売上債権の減少額(257,203千円)等があったことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は107,414千円(前年同期比35.2%減)となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入(4,095千円)等があったものの、有形固定資産の取得による支出(110,531千円)や無形固定資産の取得による支出(17,243千円)等があったことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,367,345千円(前年同期は1,442,746千円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入(200,000千円)等があったものの、短期借入金の純減少額(1,300,000千円)や長期借入金の返済による支出(248,809千円)等があったことによるものであります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	37,600,000
計	37,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,838,000	10,838,000	名古屋証券取引所 (セントレックス)	単元株式数は 100株であります。
計	10,838,000	10,838,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		10,838,000		255,157		315,278

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
前田 博史	愛知県知多郡美浜町	3,008,800	27.76
株式会社アイ・エー・エイチ	愛知県知多郡美浜町大字奥田字三ヶ市68番地の1	2,240,000	20.66
小川 幸久	愛知県名古屋市千種区	1,220,680	11.26
前田 由紀子	愛知県知多郡美浜町	960,000	8.85
株式会社愛知銀行	愛知県名古屋市中区栄三丁目14番12号	497,900	4.59
K D D I 株式会社	東京都新宿区西新宿二丁目3番2号	400,000	3.69
前田 吉昭	愛知県知多郡東浦町	320,000	2.95
株式会社商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲二丁目10番17号	220,000	2.02
名古屋鉄道株式会社	愛知県名古屋市中村区名駅一丁目2番4号	200,000	1.84
株式会社光通信	東京都豊島区南池袋一丁目16番15号	196,300	1.81
計		9,263,680	85.47

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,837,300	108,373	
単元未満株式	普通株式 500		
発行済株式総数	10,838,000		
総株主の議決権		108,373	

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己株式) 株式会社クロップス	名古屋市中村区名駅四丁目23番9号	200		200	0.00
計		200		200	0.00



## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,888,022	1,803,078
受取手形及び売掛金	<sup>3</sup> 2,056,428	<sup>3</sup> 1,799,224
商品	1,072,933	1,255,882
貯蔵品	2,896	2,538
繰延税金資産	149,847	149,847
その他	288,571	220,983
貸倒引当金	22,152	8,758
流動資産合計	6,436,547	5,222,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	870,298	856,731
貸与資産(純額)	50,377	25,530
土地	1,337,547	1,337,547
その他(純額)	66,073	76,228
有形固定資産合計	2,324,296	2,296,038
無形固定資産		
のれん	308,906	274,740
その他	41,460	54,656
無形固定資産合計	350,367	329,397
投資その他の資産		
投資有価証券	348,685	345,208
差入保証金	<sup>1</sup> 949,727	<sup>1</sup> 1,004,218
繰延税金資産	227,364	226,505
その他	164,599	150,176
貸倒引当金	14,771	7,556
投資その他の資産合計	1,675,606	1,718,553
固定資産合計	4,350,269	4,343,988
資産合計	10,786,817	9,566,785

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,111,289	1,075,083
短期借入金	2,650,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	464,319	504,279
未払金	604,266	510,276
未払法人税等	232,209	218,344
賞与引当金	183,459	199,444
その他	389,274	348,418
流動負債合計	5,634,819	4,205,847
固定負債		
長期借入金	879,560	790,790
退職給付引当金	173,386	159,434
役員退職慰労引当金	14,365	7,315
長期預り保証金	671,350	737,151
資産除去債務	87,733	88,036
その他	153,664	158,049
固定負債合計	1,980,060	1,940,776
負債合計	7,614,879	6,146,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,157	255,157
資本剰余金	315,278	315,278
利益剰余金	2,387,961	2,618,995
自己株式	61	91
株主資本合計	2,958,335	3,189,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,434	73,901
その他の包括利益累計額合計	78,434	73,901
新株予約権	1,128	1,805
少数株主持分	134,038	155,113
純資産合計	3,171,937	3,420,160
負債純資産合計	10,786,817	9,566,785

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	8,085,729	10,265,101
売上原価	5,991,257	7,803,806
売上総利益	2,094,471	2,461,295
販売費及び一般管理費	1,617,106 <sup>1</sup>	1,985,834 <sup>1</sup>
営業利益	477,365	475,461
営業外収益		
受取利息	375	464
受取配当金	2,846	2,123
違約金収入	27,913	-
貸倒引当金戻入額	-	16,694
その他	5,571	9,051
営業外収益合計	36,705	28,333
営業外費用		
支払利息	10,407	13,219
支払手数料	15,961	-
固定資産売却損	2,909 <sup>2</sup>	806 <sup>2</sup>
固定資産除却損	10,894 <sup>2</sup>	391 <sup>2</sup>
その他	6,934	3,854
営業外費用合計	47,107	18,272
経常利益	466,963	485,522
特別利益		
固定資産売却益	-	1,466 <sup>2</sup>
特別利益合計	-	1,466
特別損失		
固定資産除却損	1,122 <sup>2</sup>	1,686 <sup>2</sup>
固定資産臨時償却費	68,137	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	56,848	-
特別損失合計	126,109	1,686
税金等調整前四半期純利益	340,854	485,303
法人税等	120,755	214,724
少数株主損益調整前四半期純利益	220,098	270,578
少数株主利益	16,368	23,288
四半期純利益	203,730	247,290

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	220,098	270,578
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,571	4,508
その他の包括利益合計	1,571	4,508
四半期包括利益	221,669	266,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	205,443	242,757
少数株主に係る四半期包括利益	16,226	23,312

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	340,854	485,303
減価償却費	85,531	80,479
固定資産臨時償却費	68,137	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	56,848	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	-	20,609
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,251	13,951
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,455	7,050
賞与引当金の増減額(は減少)	16	15,985
受取利息及び受取配当金	3,221	2,587
支払利息	10,407	13,219
固定資産除却損	12,017	391
売上債権の増減額(は増加)	424,006	257,203
たな卸資産の増減額(は増加)	24,500	182,591
仕入債務の増減額(は減少)	383,816	36,206
差入保証金の増減額(は増加)	2 28,439	2 57,212
その他	46,291	92,525
小計	653,931	624,898
利息及び配当金の受取額	3,058	2,256
利息の支払額	11,063	12,755
法人税等の還付額	37,906	-
法人税等の支払額	156,650	225,183
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>527,182</b>	<b>389,216</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	52,797	110,531
有形固定資産の売却による収入	-	4,095
無形固定資産の取得による支出	3,817	17,243
投資有価証券の取得による支出	99,910	349
差入保証金の差入による支出	2 4,273	2 1,069
差入保証金の回収による収入	2 300	2 3,791
その他	5,206	13,891
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>165,706</b>	<b>107,414</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,150,000	1,300,000
長期借入れによる収入	500,000	200,000
長期借入金の返済による支出	190,319	248,809
配当金の支払額	16,233	16,269
少数株主への配当金の支払額	700	2,237
自己株式の取得による支出	-	29
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,442,746</b>	<b>1,367,345</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(は減少)</b>	<b>1,804,223</b>	<b>1,085,544</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,071,845	2,840,050
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1 2,876,068</b>	<b>1 1,754,506</b>

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
1 税金費用の計算	当第2四半期連結累計期間における税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算出しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
1 差入保証金の内訳は次の通りであります。 飲食店舗居抜き流通事業に関する 差入保証金 752,050千円 その他の差入保証金 197,676千円 合計 949,727千円	1 差入保証金の内訳は次の通りであります。 飲食店舗居抜き流通事業に関する 差入保証金 809,263千円 その他の差入保証金 194,954千円 合計 1,004,218千円
2 偶発債務 リース契約に対して、債務保証を行っております。 飲食店舗居抜き流通事業に係る 飲食店舗出店者 2,619千円	2
3 売掛金の流動化に伴う譲渡高 29,701千円	3 売掛金の流動化に伴う譲渡高 28,476千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
1 販売費及び一般管理費のうち主なもの 役員報酬及び給与手当 732,507千円 賞与引当金繰入額 97,603千円 退職給付費用 6,034千円 地代家賃 135,043千円	1 販売費及び一般管理費のうち主なもの 役員報酬及び給与手当 811,245千円 賞与引当金繰入額 115,416千円 退職給付費用 8,871千円 地代家賃 182,562千円
2 固定資産売却益及び固定資産売却損、固定資産除却損 飲食店舗居抜き流通業に関する固定資産売却損益及び固定資産除却損については、営業外収益又は営業外費用で計上しており、その他の固定資産売却損益及び固定資産除却損については特別利益又は特別損失で計上しております。	2 固定資産売却益及び固定資産売却損、固定資産除却損 飲食店舗居抜き流通業に関する固定資産売却損益及び固定資産除却損については、営業外収益又は営業外費用で計上しており、その他の固定資産売却損益及び固定資産除却損については特別利益又は特別損失で計上しております。



(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)												
<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table> <tr> <td>現金及び預金</td> <td>2,886,068千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月超の定期預金</td> <td><u>10,000千円</u></td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>2,876,068千円</td> </tr> </table> <p>2 差入保証金 飲食店舗居抜き流通業に関する差入保証金の増減額については、営業活動によるキャッシュ・フローに計上しており、その他の差入保証金の差入による支出及び差入保証金の回収による収入については、投資活動によるキャッシュ・フローで計上しております。</p>	現金及び預金	2,886,068千円	預入期間が3か月超の定期預金	<u>10,000千円</u>	現金及び現金同等物	2,876,068千円	<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table> <tr> <td>現金及び預金</td> <td>1,803,078千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月超の定期預金</td> <td><u>48,571千円</u></td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>1,754,506千円</td> </tr> </table> <p>2 差入保証金 飲食店舗居抜き流通業に関する差入保証金の増減額については、営業活動によるキャッシュ・フローに計上しており、その他の差入保証金の差入による支出及び差入保証金の回収による収入については、投資活動によるキャッシュ・フローで計上しております。</p>	現金及び預金	1,803,078千円	預入期間が3か月超の定期預金	<u>48,571千円</u>	現金及び現金同等物	1,754,506千円
現金及び預金	2,886,068千円												
預入期間が3か月超の定期預金	<u>10,000千円</u>												
現金及び現金同等物	2,876,068千円												
現金及び預金	1,803,078千円												
預入期間が3か月超の定期預金	<u>48,571千円</u>												
現金及び現金同等物	1,754,506千円												

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月18日 定時株主総会	普通株式	16,256	1.5	平成22年3月31日	平成22年6月21日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月17日 定時株主総会	普通株式	16,256	1.5	平成23年3月31日	平成23年6月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	移動体通信 事業	人材派遣 事業	ビルメンテ ナンス事業	飲食店舗 居抜き 流通事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,630,505	1,073,765	1,577,185	775,069	8,056,525	29,204	8,085,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高		97,880	712		98,592		98,592
計	4,630,505	1,171,645	1,577,897	775,069	8,155,117	29,204	8,184,321
セグメント利益又は 損失( )	370,871	50,623	31,483	49,454	502,432	23,745	478,686

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、固定通信事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	502,432
「その他」の区分の損失( )	23,745
セグメント間取引消去	3,900
のれん償却額	5,221
四半期連結損益計算書の営業利益	477,365

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメン テナンス 事業	飲食店舗 居抜き 流通事業	文具事務 用品卸事業 (注1)	
売上高						
外部顧客への売上高	5,249,094	970,723	1,596,909	714,195	1,734,177	10,265,101
セグメント間の内部 売上高又は振替高		86,286	1,339			87,625
計	5,249,094	1,057,010	1,598,248	714,195	1,734,177	10,352,727
セグメント利益又は 損失( )	297,791	46,825	52,420	2,319	111,246	505,964

	その他 (注2)	合計
売上高		
外部顧客への売上高		10,265,101
セグメント間の内部 売上高又は振替高		87,625
計		10,352,727
セグメント利益又は 損失( )	237	505,726

(注) 1. 輸入文具の企画・卸売販売等を営む株式会社スガタの株式を取得し、連結子会社化したことに  
伴い、同事業が加わりました。みなし取得日を平成22年12月31日としております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社クロップス  
・メディコムに関するものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額  
の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	505,964
「その他」の区分の損失( )	237
セグメント間取引消去	3,900
のれん償却額	34,165
四半期連結損益計算書の営業利益	475,461

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	18円79銭	22円81銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	203,730	247,290
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	203,730	247,290
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,837	10,837

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<p>(自己株式の取得について)</p> <p>当社は、平成23年11月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定に読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な方法について決議し、下記の通り取得いたしました。</p> <p>1. 自己株式の取得を行った理由 経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため</p> <p>2. 取得対象株式の種類 当社普通株式</p> <p>3. 取得した株式の総数 1,220,600株</p> <p>4. 株式の取得価額の総額 404,018千円</p> <p>5. 取得日 平成23年11月7日</p> <p>6. 取得の方法 名古屋証券取引所の自己株式立会外買付取引(N-NET3)による買付け</p>

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

株式会社クロップス  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 安 藤 泰 行 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岩 田 国 良 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社クロップスの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社クロップス及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成23年11月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を取得している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。